

胸腔鏡下縦隔・胸膜腫瘍切除術 入院診療計画書(患者様に治療/検査の予定を理解していただく手助けとして)

No. 1

患者氏名 _____ 様 (ID: _____)
 病名 _____

クリニカルパス番号: 40031311
 年 月 日

月日				
経過	入院当日～	手術前日	手術当日(術前)	(術後)集中治療室入室
説明	<ul style="list-style-type: none"> 手術について医師が説明します 看護師から入院時のオリエンテーションがあります 看護師が手術についてパンフレットを用い説明します 	<ul style="list-style-type: none"> 署名と捺印後、同意書を看護師に提出して下さい 麻酔科の医師が伺います 集中治療室の看護師が伺います 	<ul style="list-style-type: none"> 手術開始時間は手術説明書のとおりです(時間が変更になることもあります) 御家族の方は手術開始予定の1時間ぐらい前には病室にお越し下さい(9時開始の時は8時30分頃にお越しください) 	<ul style="list-style-type: none"> 集中治療室に入室します 集中治療室で主治医より家族に手術後の説明があります(本人へは麻酔が完全に覚めてから行きます) 経過によっては術当日に病棟に戻ることがあります
処置	<ul style="list-style-type: none"> 痰の多い方は痰きりの吸入を行う場合があります 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後～次の日までは酸素マスクをしています 尿の管がつながっています 胸に管(ドレーン)が入っています 痰きりの吸入を行うことがあります 背中に痛み止めの管が入っていることがあります 気分が悪くなったり痛みが強いとき、夜間眠れないときは看護師にお知らせ下さい 看護師が頻回にベットを訪ねます 手術後の持続点滴は24時間の予定です
内服	<ul style="list-style-type: none"> 内服中の薬があれば知らせて下さい 		指示された薬のみ少量の水でお飲み下さい	
点滴			<ul style="list-style-type: none"> 午後の手術の場合は午前中点滴を行うことがあります 	
検査	<ul style="list-style-type: none"> レントゲンや採血の検査を適宜行います。 			<ul style="list-style-type: none"> 手術後に手術室でレントゲンがあります 集中治療室で採血があります
食事	<input type="checkbox"/> 普通食 <input type="checkbox"/> 治療食	<ul style="list-style-type: none"> 21時より絶食となります 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的に手術3時間前までは水・お茶・スポーツドリンクなら飲水可能です 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後は口が渇いても水は飲めませんので、うがいなどで口腔内を湿らす程度になります
活動	<ul style="list-style-type: none"> 制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 手術室へは歩いて、もしくは車椅子で移動します 状況によってベットで移動することがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です(手術後より足を曲げたり横を向いてもかまいません) 足首の運動を行ってください
清潔		<ul style="list-style-type: none"> 入浴しシャンプーをして下さい(入浴できないときは看護師が体を拭きます) 	<ul style="list-style-type: none"> 朝、うがいをして下さい 	<ul style="list-style-type: none"> 蒸しタオルで顔を拭きます(夕) 翌朝、看護師が体を拭きます
その他	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙してください 	<ul style="list-style-type: none"> 手術に必要な物品の確認をします 	<ul style="list-style-type: none"> 家族の方は手術室まで一緒に行きます 手術終了まで控え室でお待ち下さい 	
目標	<ul style="list-style-type: none"> 入院生活に慣れ、睡眠が十分にとれる 			<ul style="list-style-type: none"> 呼吸・循環動態が安定している

2013年11月改訂

注1: 病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査を進めていくにしたがって変わる可能性もあります

注2: 入院期間については現時点で予想されるもので、今後の経過で変更となる可能性もあります

主治医: _____ 印

担当看護師: _____ 印



上記計画書について、十分説明を受けました。

患者署名 _____

患者氏名 _____ 様

月日						
経過	術後 1 日目	術後 2 日目	術後 3 日目～		術後 5 日目～	退院日
説明	・問題がなければ昼頃に集中治療室より病棟に戻ります				退院後の生活について 医師と看護師から説明があります	・次回外来日を連絡します
処置	・朝、医師が手術創部のチェックを行います ・痰きりの吸入をすることがあります ・酸素マスクを鼻のチューブ(経鼻カヌラ)に変更します	・手術創部のチェックを行います ・尿の管が抜けます	・胸の管(ドレーン)を抜きます		ほとんどの手術で創部の抜糸は不要です。	・ドレーン部の抜糸は退院後に外来で行います
内服	・痛み止めの内服をします		・途中で痛み止めは頓服になります。			・痛み止めなどが処方されます
点滴	・夕方まで持続点滴を行います	・食事がとれていれば点滴は終了です。(状態により点滴を延長します)				
検査	・朝、採血とレントゲンがあります	・適宜採血やレントゲンをを行います				
食事	・朝、医師診察後、飲水食事が許可されます ・昼、夕は5分粥です	・全粥食です(2日目)	・普通食です(3日目)			
活動	・胸の管が抜けるまで足首の運動を積極的に行ってください	・尿の管が抜けたらドレーンバックを持ってトイレまで歩行できます 初めての歩行は看護師が付き添います	・胸の管が抜けたら病棟内を歩けます			
清潔	・歩行できるようになるまで朝と夕方に蒸しタオルとうがいの水を持って行きます	・看護師が体を拭きます ・ウォシュレットを使って清潔にしましょう	・胸の管が抜けたらシャンプーができます		胸の管が抜けた翌々日より状態が良ければシャワーが許可されます	
その他						
目標	→	・痛みのコントロールを図りながらトイレ歩行ができる			・無理なく体を動かすことができる	・退院後の生活について理解できる

主治医: _____ 印

担当看護師: _____

上記計画書について、十分説明を受けました。

患者署名 _____

